

2022年6月30日

2022年春の花粉飛散の特徴は？「花粉まとめ2022」を発表
飛散開始が遅れ短期集中型のシーズン 飛散量は北ほど多い傾向
 ～寒い冬と暖かい春の影響で、花粉症の発症・症状のピークは昨年よりも後ろ倒しに～

株式会社ウェザーニューズ(本社:千葉市美浜区、代表取締役社長:草開千仁)は、2022年春の花粉の飛散と花粉症の症状のまとめを発表しました。本発表では、一般の方や企業、病院などの協力のもと全国約1,000か所に設置した独自の花粉観測機「ポールンロボ」が観測した花粉飛散量と、アプリ「ウェザーニューズ」を利用する花粉症の方からシーズン中に寄せられたのべ123,101通の症状報告をまとめています。なお、2023年春の花粉飛散傾向は、10月頃に発表予定です。

✓ポイント

1. 飛散量:北日本や北陸で多く、西日本で少ない傾向
2. 飛散時期:飛散開始は遅く、短期集中型の傾向に
3. 症状報告:花粉症の発症は遅め、飛散量の多かった北日本や北陸でつらい症状が多い傾向

ウェザーニューズウェブサイト「花粉まとめ2022」

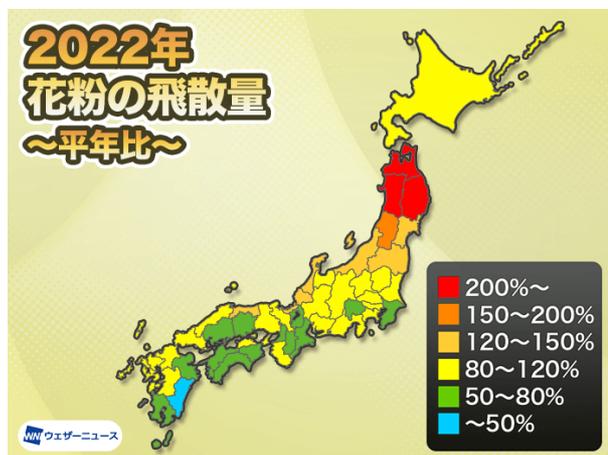
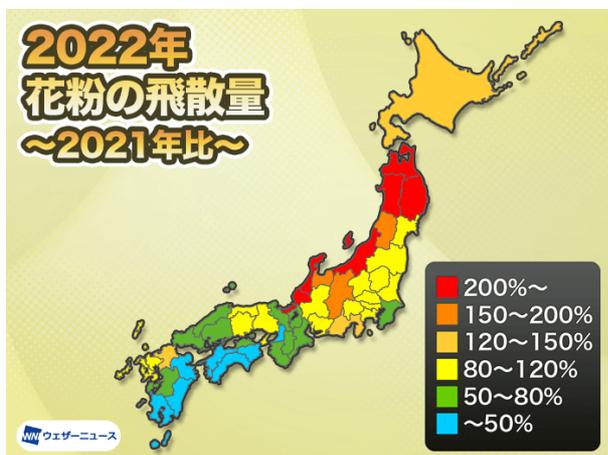
<https://weathernews.jp/s/topics/202206/260265/>

◆ 2022年 花粉の飛散まとめ

<飛散量は北日本や北陸で多く、西日本で少ない傾向>

ウェザーニューズ独自の花粉観測機「ポールンロボ」が観測した2022年春の花粉飛散量は、全国平均で昨年比101%、平年比105%(※1)となり、概ね昨年並み、平年並みでした。

地域によって飛散量の偏りが大きいのが特徴で、北日本や北陸では昨年より飛散量が大幅に増加した一方、西日本では昨年の飛散量を下回ったところが多くなりました。関東や東海など東日本太平洋側の飛散量は昨年・平年と比べて概ね同程度でした。



花粉の飛散量は前年夏からの花粉の生成量と飛散時期の天候に左右されると考えられます。花粉の生成量は主に夏の気温や日照時間、年ごとの花粉の増減傾向に影響されます。

昨年夏の北日本や北陸は日照時間、気温ともに平年を上回り、雄花の生長に適した天候でした。北日本や北陸では昨年春の飛散量が平年を下回ったところが多く、その反動で飛散量が大幅に多くなりました。一般的に花粉は晴れて気温が高く、風が強い日に多く飛散します。今年は飛散がピークを迎えた3月から4月にかけて晴れて高温傾向が続いたことも飛散量が増えた要因と考えられます。

一方、西日本では昨年夏の日照時間、気温が平年並みか平年を下回り、雄花の生育にはやや不向きな天候でした。西日本では昨年春の飛散量が平年を上回ったところが多く、その反動で飛散量が昨年より減少しました。今年の2月は強い寒気の影響で低温が続き、花粉の飛散開始・本格飛散が例年より遅くなったことも、飛散量が減少した一因であると考えられます。

(※1)花粉飛散の平年:2012~2021年の過去10年の平均

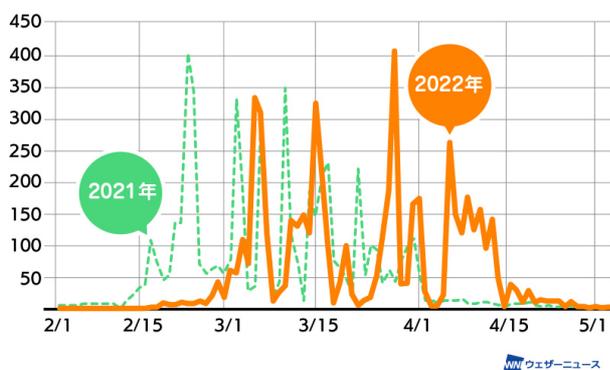
<花粉の飛散開始は遅く、短期集中型>

2022年春の花粉飛散の特徴は、2月の寒さの影響で飛散開始が遅くなったことと、3月以降の暖かさによって花粉の飛散が一気に進んだことです。3月以降も高温が続いたため、平年に比べて飛散期間は短くなり、短期間に飛散が集中しました。

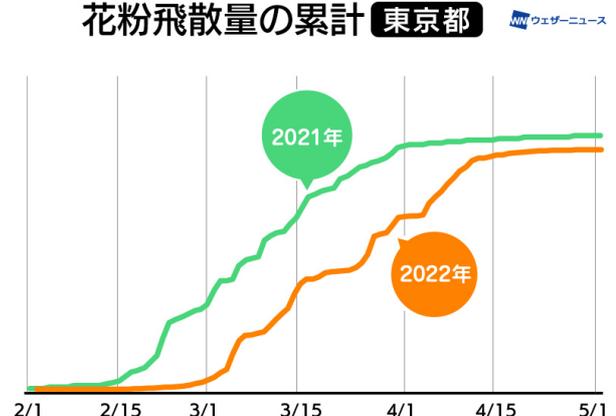
北海道を除いてほぼ全国的に飛散開始、本格飛散開始が平年や昨年と比べて遅くなりました。近年は2月に入ると日毎の気温が大きく変動し、気温が高くなった日にスギ花粉の飛散が始まるケースが多くありましたが、今年の2月は強い冬型の気圧配置により上空の寒気が居座ったことや、本州南岸を通過する低気圧の影響を受けて低温が続き、飛散開始が遅くなりました。

2月下旬以降は上空の寒気が去り、暖かくなる日が多くなりました。暖かさによって花粉の飛散が促され、飛散開始エリア、本格飛散エリアが一気に拡大しました。3月以降もほぼ全国的に高温傾向が続き、飛散が順調に進んだことによって飛散の終了時期は平年よりも早くなりました。3月以降の高温傾向が低温による飛散開始の遅れを取り戻した形です。花粉の飛散期間は平年や昨年よりも短く、短期間に飛散が集中した形になりました。

花粉数の推移 **東京都**



花粉飛散量の累計 **東京都**



◆ 2022年 花粉症の症状報告まとめ

＜飛散量の多い北日本や北陸でつらい人が多い傾向＞

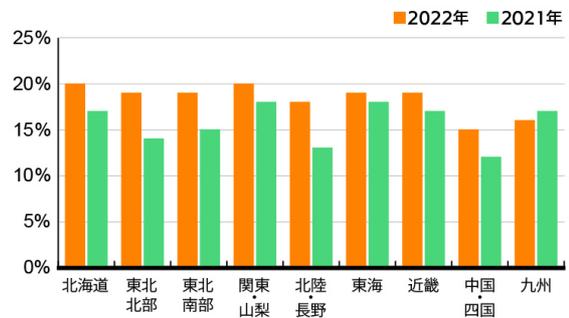
花粉症の症状のつらさはどうだったのか、スマホアプリ「ウェザーニュース」のユーザーから寄せられる症状報告を分析しました(※2)。

その結果、花粉症の症状がつらいと感じた方の割合は、全回答数の19%となり、昨年の17%よりも2ポイント増加しました。

地域別に見てみると、特に東北や北陸・長野では昨年との違いが顕著で、これらの地域では花粉の飛散量も昨年に比べて大幅に多くなっています。また、飛散量が昨年よりも少なくなった県が多かった九州

では、昨年よりもつらい人の割合が減少しました。その他の地域では、つらい人の割合は昨年並か昨年をやや上回る結果となりました。

花粉症の症状がつらい人の割合



WN ウェザーニュース

(※2)症状がつらい人の割合:スマホアプリ「ウェザーニュース」の『花粉 Ch.』に2022年2月1日～5月31日までに花粉症のユーザーから寄せられた症状報告(のべ123,101通)のうち、“非常につらい”“つらい”の回答を合計し、割合で表示。

＜発症・症状のピークは昨年より遅い傾向＞

今年と昨年の症状報告の変化を比較してみると、今年は花粉症の症状がつらいと感じる方が増えてきたのは花粉の飛散量と同じく3月に入ってからで、昨年よりも遅い傾向となりました。

特につらい割合が増えたのは3月12日から17日頃でした。昨年は2月23日だったことから、最もつらい時期が昨年より2週間以上も遅くなったと言えます。

昨年は飛び始めが早く、2月下旬に症状のピークを迎えましたが、今年は飛び始めが遅れた分、症状のピークも後ろ倒しとなりました。

花粉症の症状報告の変化



WN ウェザーニュース

◆ 都道府県ごとの花粉飛散傾向

都道府県	花粉シーズン中の総飛散量		症状が辛い割合	
	2021年比(%)	平年比(%)	2022年(%)	2021年(%)
北海道	120	94	20	17
青森県	406	327	20	20
岩手県	310	247	21	14
秋田県	356	317	15	7
宮城県	119	140	22	17
山形県	163	184	17	21
福島県	116	128	18	12
茨城県	92	94	16	14
栃木県	86	85	23	19
群馬県	84	80	19	17
埼玉県	99	91	23	24
千葉県	70	71	19	15
東京都	94	92	19	17
神奈川県	114	111	19	18
山梨県	110	75	27	32
長野県	156	94	23	15
新潟県	218	148	16	15
富山県	193	114	13	8
石川県	237	139	19	7
福井県	225	132	13	5
静岡県	121	109	18	18
愛知県	97	89	19	18
岐阜県	111	100	25	20
三重県	51	63	15	15
滋賀県	70	74	17	15
京都府	74	92	16	15
大阪府	48	63	19	17
兵庫県	82	85	21	19
奈良県	52	57	17	11
和歌山県	65	81	18	14
岡山県	86	79	15	11
広島県	59	63	21	15
鳥取県	92	132	16	10
島根県	59	87	10	15
山口県	68	92	17	12
徳島県	40	55	29	22
香川県	52	85	6	7
愛媛県	42	76	8	10
高知県	40	68	27	9
福岡県	121	117	18	16
佐賀県	118	107	24	20
長崎県	103	101	14	24
大分県	48	57	13	14
熊本県	70	85	15	12
宮崎県	30	38	13	16
鹿児島県	43	63	9	20
全国平均	101	105	19	17

- * 総飛散量：花粉観測機「ポールンロボ」が観測した花粉の都道府県別の平均を示し、小数点以下を四捨五入
- * 症状：2/1～5/31の期間において症状が出ている方（“非常に辛い”“辛い”“やや辛い”と回答した方）のうち、“非常に辛い”または“辛い”と回答した方の割合

◆ シーズン開始・終了日

都道府県	2022年				平年(2012年～2021年の平均)			
	飛散開始	本格 飛散開始	本格 飛散終了	飛散終了	飛散開始	本格 飛散開始	本格 飛散終了	飛散終了
北海道	4/19	4/21	5/27	6/6	4/26	5/2	6/1	6/12
青森県	3/11	3/21	4/27	5/9	3/9	3/15	4/29	5/8
岩手県	3/11	3/17	4/18	5/5	3/4	3/11	4/28	5/8
秋田県	3/13	3/21	4/19	4/30	3/8	3/15	4/29	5/7
宮城県	3/5	3/11	4/22	5/5	2/23	3/4	4/25	5/6
山形県	3/11	3/17	4/21	4/30	3/1	3/7	4/26	5/6
福島県	3/5	3/11	4/23	5/5	2/22	3/3	4/26	5/7
茨城県	2/24	3/1	4/17	5/4	2/7	2/20	4/27	5/7
栃木県	2/24	3/1	4/22	5/4	2/8	2/20	4/28	5/7
群馬県	2/21	3/1	4/22	5/4	2/8	2/19	4/27	5/7
埼玉県	2/17	2/27	4/24	5/4	2/7	2/20	4/26	5/7
千葉県	2/21	2/27	4/23	4/30	2/6	2/19	4/24	5/7
東京都	2/17	2/27	4/23	5/4	2/5	2/20	4/25	5/7
神奈川県	2/16	2/25	4/23	5/4	2/6	2/19	4/25	5/7
山梨県	2/26	3/1	4/24	5/4	2/12	2/22	4/27	5/8
長野県	2/28	3/12	4/22	5/5	2/22	3/2	5/1	5/11
新潟県	3/5	3/11	4/16	5/3	2/27	3/5	4/24	5/6
富山県	3/5	3/11	4/23	5/3	2/24	3/2	4/23	5/5
石川県	3/5	3/10	4/15	5/3	2/23	2/28	4/25	5/4
福井県	3/4	3/11	4/13	4/28	2/23	2/28	4/24	5/3
静岡県	2/17	2/27	4/20	4/30	2/9	2/18	4/27	5/6
愛知県	2/27	3/5	4/22	5/4	2/16	2/23	4/25	5/5
岐阜県	2/28	3/10	4/22	4/30	2/19	2/25	5/1	5/10
三重県	2/22	2/27	4/20	4/25	2/15	2/22	4/25	5/4
滋賀県	2/28	3/10	4/19	4/30	2/21	2/27	4/25	5/3
京都府	2/28	3/10	4/22	4/30	2/20	2/27	4/25	5/4
大阪府	2/27	3/5	4/22	5/3	2/19	2/25	4/24	5/3
兵庫県	2/28	3/5	4/22	5/3	2/18	2/26	4/26	5/5
奈良県	2/27	3/5	4/22	5/3	2/18	2/25	4/26	5/4
和歌山県	2/21	2/27	4/20	4/28	2/14	2/23	4/23	5/4
岡山県	2/27	3/5	4/20	4/30	2/19	2/25	4/25	5/3
広島県	2/26	3/2	4/20	4/30	2/18	2/24	4/23	5/2
鳥取県	2/26	3/2	4/17	4/28	2/18	2/25	4/22	5/1
島根県	2/26	3/2	4/14	4/28	2/17	2/25	4/22	5/1
山口県	2/15	2/27	4/17	4/28	2/12	2/19	4/21	4/30
徳島県	2/27	3/3	4/20	5/3	2/16	2/21	4/23	5/3
香川県	2/26	2/28	4/20	5/3	2/17	2/23	4/23	5/2
愛媛県	2/16	2/27	4/19	4/28	2/14	2/20	4/23	5/2
高知県	2/16	2/28	4/19	4/28	2/15	2/22	4/23	5/2
福岡県	2/15	2/27	4/13	4/28	2/10	2/18	4/18	4/27
佐賀県	2/16	2/27	4/13	4/28	2/14	2/19	4/17	4/27
長崎県	2/15	2/27	4/8	4/28	2/10	2/18	4/18	4/26
大分県	2/16	2/27	4/13	4/25	2/11	2/19	4/19	4/28
熊本県	2/16	3/2	4/13	4/25	2/13	2/18	4/17	4/28
宮崎県	2/16	2/27	4/8	4/25	2/9	2/19	4/20	4/28
鹿児島県	2/17	2/27	4/8	4/25	2/10	2/19	4/18	4/28

* 花粉シーズンの定義: 花粉観測機「ポールンロボ」の観測に加え、ユーザーからの症状報告を加味

花粉シーズン開始: 3割以上のポールンロボが1日10個以上の花粉を観測。症状が重い人、敏感な人に症状が出始める目安

本格花粉シーズン開始: 3割以上のポールンロボが1日30個以上の花粉を観測。花粉症の多くの人に症状が出始める目安

花粉シーズン終了: 7割以上のポールンロボが1日10個以下の花粉を観測